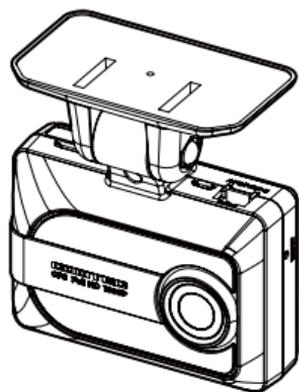


ドライブレコーダー HDR003

取付説明書／取扱説明書／保証書



お買い上げ時の設定では、液晶ディスプレイは安全運転の妨げにならないように、起動後速度 10km/h 以上で走行すると非表示に切替わります。(⇒ P30)

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本書には取付けおよび操作手順が説明されております。
正しくご使用頂くために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。
なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品が動作した状態（駐車監視モードを含む）で microSD カードの抜き差しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キースイッチを OFF 後、アクセスランプ（橙）が消灯したことを確認し、抜き差しを行ってください。

※駐車監視モード中は P35 を参考に取り出しを行ってください。



👉 アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

COMTEC

目次

はじめに	3	本体で映像を再生する	24
安全上のご注意	3	再生画面	25
ご使用上の注意	5	パソコンで映像を再生する	26
知っておきたいこと	6	ビューワソフトを使用する前に	26
梱包内容	9	ビューワソフトを使用する	27
各部名称	10	設定を変更する	28
microSDカードの 取り出し方について	10	設定の変更方法	28
取付け方法	11	設定一覧	29
取付手順を確認する	11	緊急録画停止設定	32
シガープラグコードを接続する	11	駐車監視モードを 使用する（オプション）	33
取付位置を確認する	12	駐車監視モードについて	33
本体を取付ける	13	駐車監視モードの動作について	34
動作を確認する	16	駐車監視モード作動中の microSDカードの取り出し方	35
映像の記録について	17	駐車監視モードについての ご質問	35
常時録画について	17	付録	36
イベント録画について	18	よくあるご質問	36
映像を撮る	19	メッセージ一覧表	37
microSDカードの容量による 1 ファイルあたりの記録時間について	19	microSD カードの容量による 記録時間の目安	38
初期設定の記録件数の目安	19	microSD カードの容量による イベント録画件数の目安	39
保存先フォルダー名・ ファイル名について	20	駐車監視モード中のタイムラプス 録画設定時の記録時間目安	39
駐車監視録画割合について	21	LED ランプ確認表	40
イベント録画領域について	21	オートディマー機能	40
録画を開始する （電源を ON にする）	22	機器情報	40
録画を終了する （電源を OFF にする）	22	商標について	40
リセットスイッチについて	22	製品仕様	41
本体音量を調整する	23	保証規定	43
録画画面表示	23	HDR003 保証書	裏面

はじめに

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して説明しています。

 **警告** この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。

 警告	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 警告

-  穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
-  異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
-  運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
-  エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
-  microSDカードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。
-  角度調整ネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
-  本製品を使用する場合は必ず弊社が指定した電源ケーブルをご使用してください。指定以外のものを使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

-  気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
-  本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
-  本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。
 - ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。
 - ・湿度が高い所やほこりの多い所。
-  microSDカードを本製品に挿入する場合、挿入方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
-  本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。
 - ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ・本体を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
-  microSDカードを抜く時は必ず、車両キースイッチ OFF 後 **microSDカードのアクセスランプ (橙) が消灯**したことを確認してから抜いてください。microSDカードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDカードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDカード故障の原因となりますのでご注意ください。
-  一部の先進運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

ご使用上の注意

- **本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。**
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- **事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。**
- microSD カードを抜くときは必ず、車両キースイッチ OFF 後 **microSD カードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認してから抜いてください。**microSD カードへのデータ書込み中および読み込み中に microSD カードの抜き差しを行なうと、データ破損やデータ消失、microSD カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSD カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- **本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。**
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画を保存することをおすすめします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示されるなど製品が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、信号機通過前、通過後の映像や周辺の車両状況などから判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- ガラスにスモークフィルムが貼られた車両（純正プライバシーガラス装着車除く）や夜間の明かりがない場所などでは、道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。

- 弱電界地域では地上デジタルテレビ放送が映らなくなる場合があります。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューワソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品にはお買い上げの日から 3 年間の製品保証がついています。ただし microSD カード、両面テープ、本体内蔵バッテリー等の消耗品およびその他付属品は保証の対象となりません。
- 本製品は動作安定性向上のため、ソフトウェア（ファームウェア）のアップデートプログラムを弊社ホームページで公開する場合があります。定期的に弊社ホームページをご確認いただき、常に最新のバージョンでのご使用を推奨します。
※アップデートプログラムのダウンロードにかかる通信費やアップデートに関する作業代はお客様のご負担となります。
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は 12V/24V 車専用です。
- 本製品を使用する場合は、必ず付属のシガープラグコードまたは専用オプション品を使用してください。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

知っておきたいこと

● 液晶ディスプレイについて

- ・ 液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 液晶ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約 -10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
※上記の状態でディスプレイが表示されていない場合でも、その他の機能は正常に動作しています。

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GLONASS とは

「GLObal'naya NAVigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

「Quasi Zenith Satellites System」宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の衛星を利用し、日本上空での現在位置を計測するシステムです。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS の速度表示について

GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

● microSDカードについて

- ・ 付属の microSD カードは本機専用です。
- ・ 本機を使用するときは、microSD カードが必要です。
- ・ 本機の対応 microSD カードと付属 microSD カードは以下の通りです。
 - ※対応 microSD カード：8GB ～ 128GB (class10 推奨)
 - ※本機付属 microSD カード：16GB (class10)
- ・ microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1 日 2 時間程度使用する場合で約 1 ～ 2 年を目安に交換することをおすすめします。また、使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。
 - ※寿命となった microSD カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
- ・ microSD カードをパソコンでフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- ・ 本製品使用時は付属または別売りオプションの microSD カードを使用してください。弊社製品以外の microSD カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

● 本製品のファイルシステムについて

- ・本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。
- ・本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによる microSD カードの断片化が起こらないファイルシステムとなっているため、microSD カードを定期的にフォーマットせずに使用することができます。
※本製品は microSD カードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSD カードは消耗品のため、その特性上、フォーマット頂いた方がより長く使用することができます。
- ・本製品で記録したデータをパソコンなどで削除を行うと、本製品に戻した際に録画データの整合性が取れず SD カードの初期化画面へ移行します。記録したデータを削除する場合は、ビューワソフトを使用して削除する、または本製品の設定メニューから SD カードの初期化を行なってください。
- ・パソコンなどでフォーマットを行なった microSD カードを本機へ挿入すると SD カードの初期化画面が表示されますので、そのまま使用する場合は初期化を行なってください。

● パソコンでのフォーマットについて

パソコンで microSD カードをフォーマットする場合は、専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットを行なってください。フォーマットソフトは、下記 SD アソシエーションのホームページから入手できます。

URL : https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/index.html

※フォーマットをすると、microSD カードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行なってください。

● ビューワソフトについて

本製品の専用ビューワソフトは弊社ホームページ (<https://www.e-comtec.co.jp/>) よりダウンロードを行うことができます。

● HDR 機能について

- ・本製品には HDR (ハイ・ダイナミック・レンジ) 機能を搭載することにより、白とびや黒つぶれを補正した、よりくっきりした録画データを記録することができます。
- ・本機能を OFF に設定することはできません。

新しい microSD カードを使用する場合について

新しい microSD カードや付属以外の microSD カードを使用する際は必ず、本製品で SD カードの初期化を行なってください。

梱包内容

- ・ご使用頂く前に、以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。
- ・万一不足している物があったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合には、弊社サービスセンターにご連絡ください。

HDR003 本体



付属品

シガープラグコード
(約4m/1Aミニ管ヒューズ内蔵)



六角レンチ
(ステー角度調整用)
(2.5mm/1個)



取付ステー固定用
両面テープ (1枚)

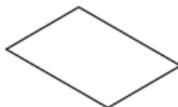


microSDカード
(16GB/1枚)



※出荷時にセット
されています。

脱脂クリーナー
(1枚)



取扱説明書
(本書 / 1冊)



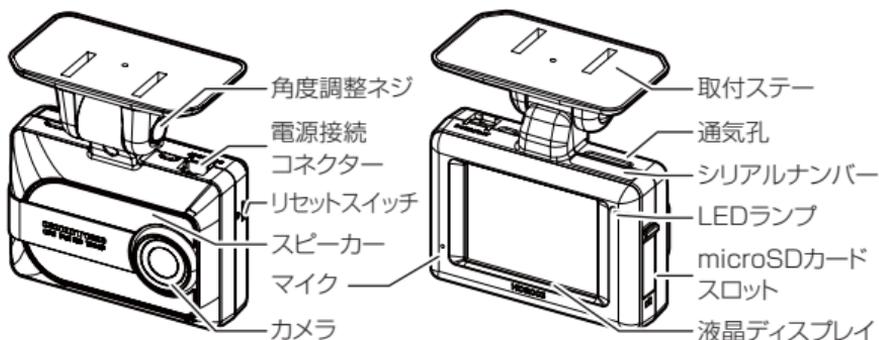
※ 取扱説明書のイラストと実際の製品では形状が異なる場合があります。

⚠ 注意

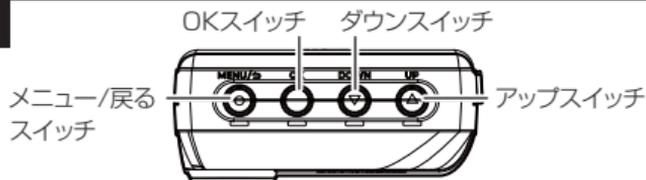
- ・ microSDカードは消耗品であり、約1～2年を目安に交換することをおすすめします。
- ・ microSDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・ 駐車監視モードなど長時間録画を行なうと早めの交換が必要になります。
- ・ 付属品以外の microSDカードの動作保証は致しかねます。
- ・ 付属品以外の microSDカードを使用する際は必ず本体で microSDカードの初期化を行なってください。

別売オプション品の詳細については、
弊社ホームページをご確認ください。

各部名称

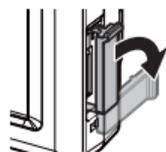


本体下部



microSDカードの取り出し方について

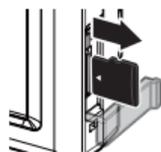
microSDカードを取り出すときは、車両キースイッチをOFFにして、一度microSDカードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDカードを軽く押し込み、



少し飛び出してきたら引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSD カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

⚠ 注意

- ・ 本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SD カードスロット周辺、SD カードは特に高温になりやすいため、触れる際はご注意ください。
 - ・ 本製品が動作した状態で microSD カードの抜き差しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キースイッチを OFF 後、アクセラランプ (橙) が消灯したことを確認し、抜き差しを行なってください。
- ※ 駐車監視モード中は P35 を参考に取出しを行なってください。



取付け方法

取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。

取付け前に仮接続を行い、製品が正常に動作することを確認のうえ、取付けを行なってください。

車両にシガープラグコードを接続する (P11)

車両に本製品を取付ける (P13 ~ P14)

動作確認を行う (P16 ~ P17)

本体の液晶で映像を確認する
(P24 ~ P25)

パソコンで映像を確認する
(P26 ~ P27)

終了

シガープラグコードを接続する

車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを挿し込み、本体の電源接続コネクタに電源コードを挿し込んでください。

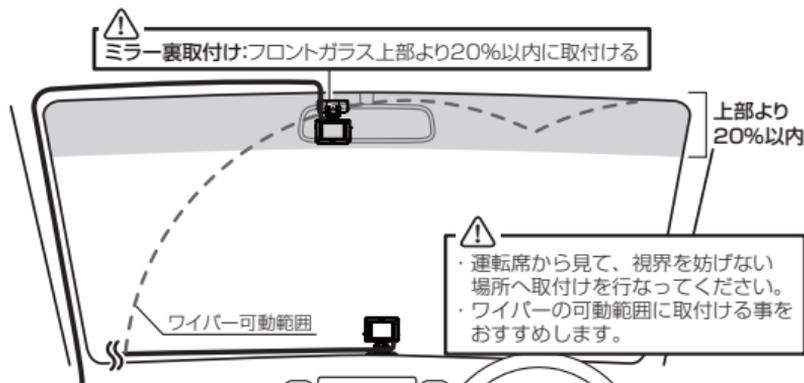


⚠ 注意

電源接続コネクタには向きがあるため、無理に挿し込むと破損します。また、取外しの際はロック部を押しながら引き抜いてください。無理に配線を引っ張ると破損します。

取付位置を確認する

本製品を取付ける際は保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認の上取付けを行なってください。



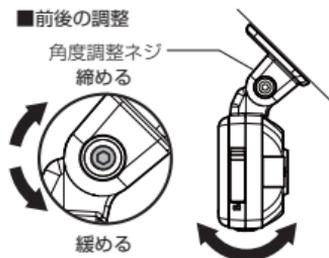
⚠️ 注意

- ・フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
※道路運送車両法の保安基準第29条（窓ガラス）、細目告示第195条および別添37
※コードクランプなどの貼付けも保安基準違反となるため、絶対に行わないでください。
- ・ダッシュボードへ取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
※道路運送車両法の保安基準第21条（運転席）、細目告示第27条および別添29
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをおすすめします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・地デジや ETC 等のアンテナ近くには設置しないでください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行なってください。
- ・本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- ・本製品の取付位置（フロントガラスまたはダッシュボード）により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ず G センサー設定を見直してください。
- ・本製品側に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

本体を取付ける

本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います。

1. ステアの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、取付角度を調整後に角度調整ネジを締めます。



⚠ 注意

- ・ 必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。
- ・ 角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- ・ 角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ・ 定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

👉 アドバイス

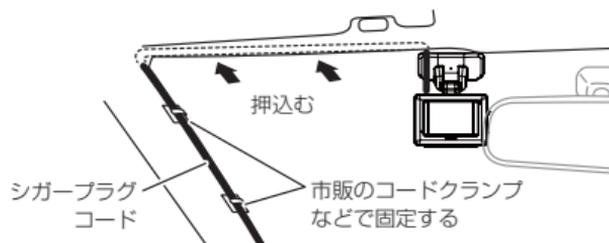
- ・ カメラレンズを触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズれてしまいますので、取付ける際はレンズに触れないようにご注意ください。
- ・ 広角レンズを採用しているため、ステア取付角度によって、画面両端上に取付ステアが映り込む事があります。あらかじめご了承ください。

2. 付属の脱脂クリーナーで取付ステアおよびフロントガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステアに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。



- ・ 必ず付属の脱脂クリーナーで貼付け面および取付ステアの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。剥がれの原因となります。
- ・ 取付後両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり、無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・ サンシェード等の日除けを使用する際は、本製品をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープ剥がれの原因となります。

3. シガープラグコードの配線の取回しを行なってください。



- ・ 運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
- ・ 地デジやラジオ、ファイバー、ETC 等のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- ・ 先進運転支援システムのカメラやセンサーなどへケーブルを這わせて配線を行わないでください。
- ・ ケーブルの余長を車両 ECU やプロアモーターなどの付近へ束ねないでください。各装置より離して余長処理を行なってください。

■ダッシュボードに取付ける場合

本製品は内蔵の G センサーにより自動で上下を判別し、液晶表示が反転します。

フロントガラス取付けの場合



ダッシュボード取付けの場合



👉 アドバイス

画面の上下方向は起動時に判別しているため、使用中に本体を反転しても画面は反転しません。その場合は、再起動を行ってからご使用ください。

⚠ 注意

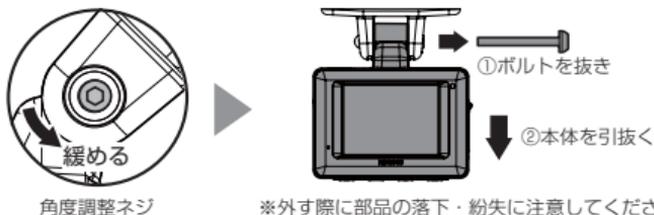
- ・ 自動車の機能の妨げになる場所やエアバッグの展開範囲には取付けないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たるおそれがあります。
- ・ ダッシュボードの形状や素材によっては貼り付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損するおそれがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。

ダッシュボードへの取付けはダッシュボードの熱が伝わり、『高温注意 本体温度が下がるまで録画を停止します』のメッセージ表示がフロントガラスへの取付けに比べ出やすくなります。頻繁に表示される場合はフロントガラスへの取付けをおすすめします。
※ メッセージ表示中は録画を行いません。本体温度が下がるまでお待ちください。

高温注意
本体温度が下がるまで
録画を停止します

■本体を取外す

角度調整ネジを緩めて、本体を引抜き取外します。



⚠ 注意

- 必ず角度調整ネジを緩めた状態で取外してください。破損の原因となります。
- 再度取付後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- 角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

動作を確認する

■ GPS の受信を確認する

車両キースイッチを ON にし、本体起動後、GPS アイコンが灰色から白色に変わり速度が表示されることを確認してください。

※ GPS を受信することで本体の日時が設定されます。

※ GPS の受信には数十秒～数分かかる場合があります。

※ 日時の補正には数分かかる場合があります。



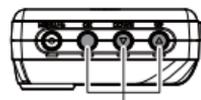
アイコン	表示内容
	GPS を受信時に表示 (白色)
	GPS を未受信時に表示 (灰色)

👉 アドバイス

- ・ お買い上げ時や [工場出荷状態に戻す] を行なった後など日時情報が保存されていない場合、本製品の電源を ON すると日時確認画面が表示されます。**GPS を受信することで、自動的に日時が設定されますが**、繰り返し表示される場合は、弊社サービスセンターまでご相談ください。
- ・ 下記のような場所では、GPS を受信することができず、GPS アイコン色が灰色に変わり、速度の表示がされません。(トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・森の中など) その場合、場所を移動してから確認を行なってください。

■ マニュアル録画の動作を確認する

- 1) LED ランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、【OK】【ダウン】【アップ】スイッチのいずれかを押ししてください。



【OK】【ダウン】【アップ】
スイッチのいずれかを押し

- 2) 『ピピッ』と音が鳴り、LED ランプが緑点滅を始め、音声および録画データを記録します。
※ 音声は自動で録音されます。



LEDランプ緑点滅

■記録した映像を確認する

24 ページの【本体で映像を再生する】を参考に、記録した映像を確認してください。

◀確認内容▶

- ・『常時録画』内に電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること。
- ・『マニュアル録画』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること。
- ・録画データに音声録音されていること。

映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。

※ 本製品では使用する microSD カードの容量によって、1 ファイルあたりの記録時間が変わります。(⇒ P19)



事故発生時の衝撃が弱い（停車中のもらい事故やバンパーをこする・軽くへこむ程度の事故など）場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像を保存して、ご確認ください。

👉 アドバイス

- ・お買い上げ時の設定では、microSDカードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。設定により上書き時の動作は変更することができます。
- ・起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- ・LED ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、メッセージを解除してください。

常時録画について

- ・エンジンを ON（車両キースイッチを ACC または ON）にした後からエンジンを OFF（車両キースイッチを OFF）にするまでを、常時録画データとして microSD カードに自動で記録を続けます。
- ・お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

イベント録画について

- ・ イベント録画には衝撃を検出した時点のファイルを記録する『衝撃録画データ』、スイッチ操作した時点のファイルを記録する『マニュアル録画データ』、駐車中の衝撃を検出した時点のファイルを記録する『駐車監視衝撃録画データ』の3種類があります。
- ・ お買い上げ時の設定では、記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・ [上書き禁止] 設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒ P29)
- ・ 本製品は使用する microSD カードの容量によって、1ファイルあたりの記録時間が変わります。(⇒ P19)

■ 衝撃録画データ

- ・ 本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・ ただし 1 ファイルの前半 10 秒以内または後半 10 秒以内に、衝撃を検出した場合、前もしくは後のデータも『衝撃録画データ』として記録されます。

■ マニュアル録画データ

- ・ 本製品スイッチ (【OK】【ダウン】【アップ】スイッチ) 押すと、スイッチを操作した時点のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。
- ・ ただし 1 ファイルの前半 10 秒以内または後半 10 秒以内に、スイッチを操作した場合、前もしくは後のデータも『マニュアル録画データ』として記録されます。

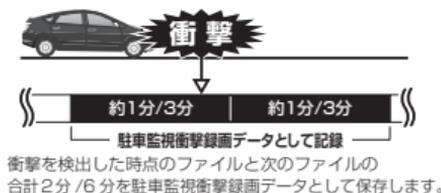
■ 駐車監視衝撃録画データ

- ・ 駐車監視モード中に本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。ただし、[駐車監視録画方式] 設定を [衝撃] に設定した場合は、衝撃検出時点の 5 秒前から 1 分間または 3 分間を『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。
- ・ 駐車監視モード中の G センサーの感度は設定により [高 (敏感) / 中 / 低 (鈍感)] の3段階で感度調整することができます。

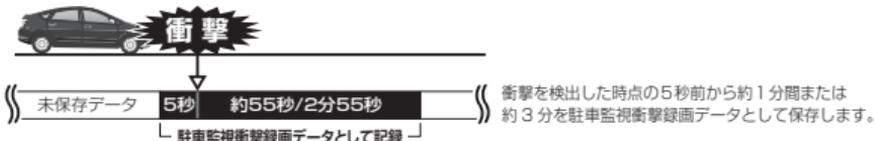
◆ 常時・衝撃に設定した場合



後半 10 秒以内に衝撃を検出した場合



◆ 衝撃に設定した場合



映像を撮る

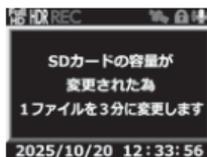
microSDカードの容量による1ファイルあたりの記録時間について

- ・本製品は microSD カードの容量によって1ファイルあたりの記録時間が変わります。
- ・microSD カードの容量による1ファイルの記録時間は以下の通りです。

microSDカード容量	1ファイルあたりの記録時間
8GB	1ファイル/1分
16GB	
32GB	
64GB	
128GB	1ファイル/3分

📢 アドバイス

- ・上記表により、1ファイルあたりの記録時間が変更される microSDカードを挿入した場合は液晶画面とアラームでお知らせを行います。
 - ・本製品でフォーマットを行っていない microSDカードを挿入した場合、microSDカードのフォーマット後に1ファイルあたりの記録時間変更お知らせを液晶画面とアラームで行います。
- ※ 1ファイルの記録時間に変更が無い場合はお知らせしません。



初期設定の記録件数の目安

初期設定値【FullHD・27.5fps・イベント録画領域20%】の場合（162件記録した場合）

容量	常時録画	イベント録画	駐車監視常時録画	駐車監視衝撃録画
16GB	124件	30件	6件	2件

- ※ 駐車監視録画の最低録画件数は5件となります。うち駐車監視常時録画は3件、駐車監視衝撃録画は2件となります。

⚠️ 注意

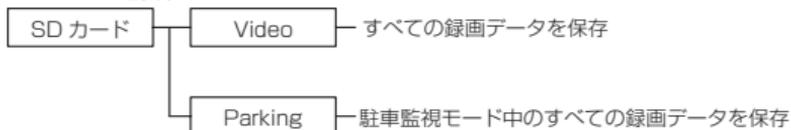
- ・付属品以外の microSDカードを使用する際は必ず本体でSDカードの初期化を行なってください。
- ・microSD カードは消耗品であり、1日2時間程度使用する場合で約1～2年を目安に交換することをおすすめします。
- ・microSDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・付属品および別売りオプション品以外の microSDカードの動作保証は致しかねます。

保存先フォルダー名・ファイル名について

本製品が microSD カードに記録したデータは、各項目ごとのフォルダーへ録画を開始した日付・録画データの種別をもとにしたファイル名で保存されます。

フォルダーやファイルの変更または削除を行うと、SD カードの初期化が必要となり、全ての動画が削除されますのでご注意ください。

●フォルダー構成

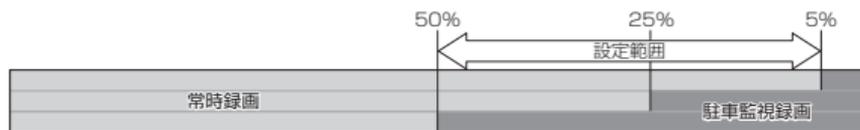


●ファイル名称は以下の内容で保存されます。



駐車監視録画割合について

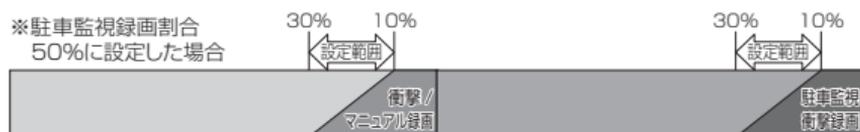
- ・ お買い上げ時の設定では microSD カード全体の 95% を常時録画、5% を駐車監視録画の割合として設定されています。
- ・ 設定により駐車監視録画のデータ保存容量を [5% / 25% / 50%] から選択することができます。(⇒ P31)
- ・ 録画割合の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。



- ※ 駐車監視録画割合を変更すると、microSD カードの初期化を行うため変更前に記録されたすべてのデータが消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへのバックアップを行ってから設定を変更してください。
- ※ 駐車監視録画データがない場合でも常時録画の記録できる時間は変わりません。

イベント録画領域について

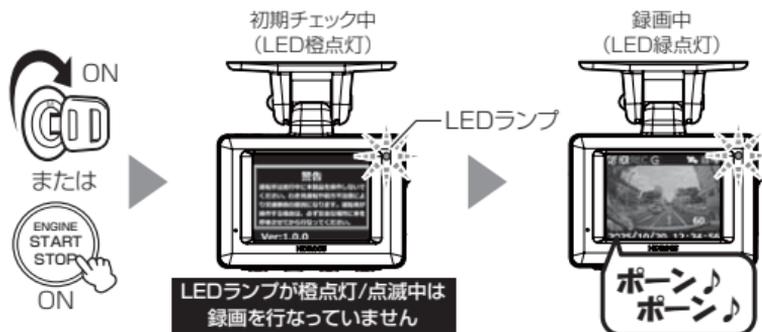
- ・ お買い上げ時の設定では常時録画、駐車監視常時録画のそれぞれ 20% をイベント録画の領域として設定されています。
- ・ 設定によりイベント録画のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。(⇒ P29)
- ・ イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画と駐車監視常時録画の保存容量の割合は連動して変更されます。



- ※ 衝撃 / マニュアル録画データがない場合は、100% 常時録画を記録します。
- ※ 駐車監視録画方式を [衝撃] に変更した場合は、駐車監視常時録画の領域もすべてイベント録画として保存されます。
- ※ 録画領域を変更すると、microSD カードの初期化が必要となり、記録されたデータがすべて消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへバックアップを行ってから設定を変更してください。

録画を開始する（電源を ON にする）

車両キースイッチを ACC または ON にしてください。録画が開始されます。



アドバイス

microSDカードチェック機能

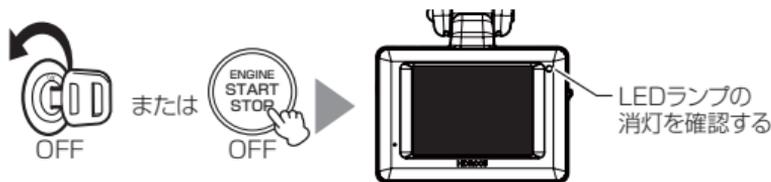
本製品では起動時に microSD カードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

※ 対処方法に関しては P37 を参照ください。

SDカードを
確認してください

録画を終了する（電源を OFF にする）

車両キースイッチを OFF にしてください。録画が終了します。

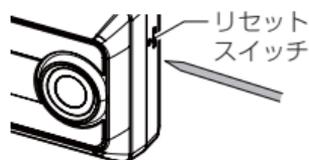


リセットスイッチについて

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際は本体のリセットスイッチを先の細い物で押し、本製品のシステムを再起動してください。

※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。

■ 本体側面



本体音量を調整する

- ・ 本体の確認音やアナウンス音、記録映像の再生時の音量を [OFF/1 ~ 10] の 11 段階から選択することができます。
- ・ 本体音量の設定は録画画面上で、【アップ】または【ダウン】を**長押し**し、[音量調整画面] を表示中に【アップ】または【ダウン】を押すことで調整できます。
- ・ 音量を [OFF] に設定していても、メッセージ表示時の確認音やアナウンス音は行います。
- ・ お買い上げ時は【5】に設定されています。
※ 本体音量は録画画面上でのみ調整可能です。
※ [音量調整画面] は、一定時間操作を行わないと自動的に録画画面に戻ります。

録画画面表示

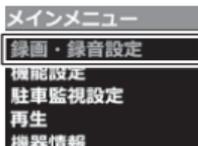
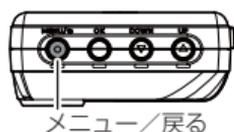


- ⑤ 自車の走行速度を表示
※GPS受信時のみ表示
- ⑦ 現在の日時を表示

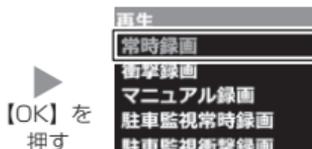
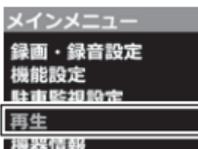
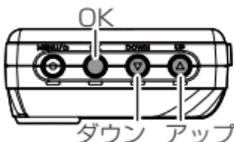
	アイコン	表示内容
①		録画サイズの設定内容 (Full HD / HD) を表示
②		HDR 機能が有効なことを表示
③		録画方式 (通常録画 / タイムラプス録画) を表示
④		録画種類 (衝撃 / マニュアル / 駐車常時 / 駐車衝撃) を表示
⑤		GPS の受信状態を表示 (未受信 / 受信)
⑥		上書き禁止の設定内容 (OFF / イベント / イベント FULL / ALL) を表示 ※イベント FULL アイコンはイベント録画データ件数上限に足した場合に表示されます。
⑦		音声録音の設定内容 (OFF / ON 小 / ON 大) を表示

本体で映像を再生する

1. 【メニュー/戻る】を長押しし、メインメニューを表示する。

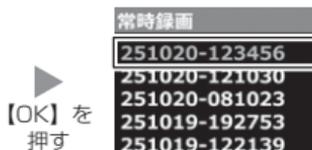
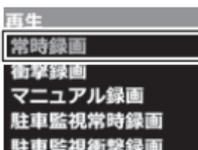
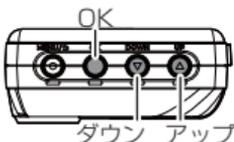


2. 【再生】を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す。

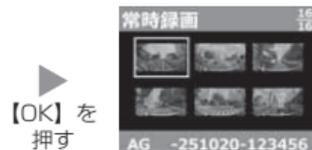
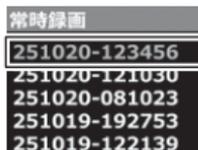
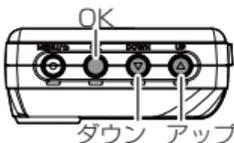


3. 映像の種類を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す。

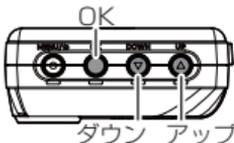
- ・ [常時録画] 常時録画データを表示
- ・ [衝撃録画] 衝撃検出による録画データを表示
- ・ [マニュアル録画] スイッチ操作による録画データを表示
- ・ [駐車監視常時録画] 駐車監視中の常時録画データを表示
- ・ [駐車監視衝撃録画] 駐車監視中の衝撃検出による録画データを表示



4. フォルダーを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す。



5. ファイルを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押すと再生が始まる。



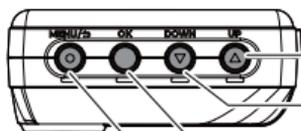
6. 再生終了後は【メニュー/戻る】を長押しし、設定画面から抜けることで録画面に戻ります。

再生画面



	アイコン	表示内容
①	▶ ◀ ▶	動作状態（再生 / 一時停止 / 早戻し / 早送り）を表示
②	Full HD HD	録画サイズの設定を表示
③	G M P PG	録画種類（衝撃 / マニュアル / 駐車常時 / 駐車衝撃）を表示

■再生画面での操作



- アップ 【短押し】：次のデータへ進む
- アップ 【長押し】：早送り
- ダウン 【短押し】：前のデータへ戻る
- ダウン 【長押し】：早戻し
- OK 【短押し】：再生 / 一時停止
- メニュー / 戻る 【短押し】：再生リストに戻る
- メニュー / 戻る 【長押し】：録画面に戻る

パソコンで映像を再生する

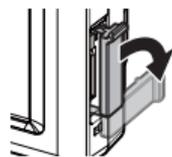
- 本製品で録画した映像は、専用ビューワソフトを使用することで、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。
- ビューワソフトは、弊社ホームページ (<https://www.e-comtec.co.jp/>) より無料でダウンロードすることができます。

👉 アドバイス

- ビューワソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS：日本語版 Windows 10 / 11
CPU：Core i3 プロセッサ 2.4GHz 同等以上を推奨
メモリー：4GB 以上を推奨
画像解像度：FullHD (1920 × 1080) 以上を推奨
※ Microsoft Edge がインストールされていないと正常に動作しません。
※ タブレット PC 除く。
- パソコンの OS アップデートによりビューワソフトが正常に動作しなくなった場合は弊社ホームページより最新版のビューワソフトをダウンロードし、お試しください。
※ 最新版のビューワソフトが公開されている場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)

ビューワソフトを使用する前に

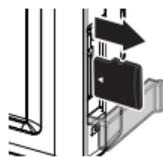
- 1) 車両キースイッチを OFF 後、microSD カードカバーを開けて microSD カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSD カードを取り出します。
※ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
※ アクセスランプ点灯中に引き抜くと録画データが破損するため、必ずアクセスランプが消灯してから microSD カードを取り出してください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDカードを軽く押し込み、



少し飛び出してきたら引き抜く。

- 2) カードリーダーなどを使用し、パソコンへ microSD カードを挿入します。

⚠️ 注意

- microSD カードは高温になります。取り出す際はご注意の上取り出すか、しばらく時間を置いてから取り出してください。
- microSD カードを取り出す際はエアコン吹き出し口等に落とさないように気を付けてください。
- microSD カード内に本製品以外のデータを入れないでください。ビューワソフトが正常に動作しなくなります。

ビューワソフトを使用する

- 1) microSDカード内のショートカットファイル [HDR003_download] をダブルクリックすると、ダウンロードページが表示されるので、専用ビューワソフトをダウンロードしてください。



HDRviewer5.zip
(ダウンロードしたファイル)

👉 アドバイス

ご使用のパソコンやカードリーダーにSDカードサイズのスロットしかない場合は、市販の「SDカード変換アダプター」を使用し、microSDカードをSDカードサイズに変換し、挿入してください。



- 2) ダウンロードしたファイルを展開します。



HDRviewer5.zip
(ダウンロードしたファイル)



HDRviewer5 フォルダー
(展開してできたフォルダー)

- 3) 2) で展開したフォルダー内にあるビューワソフト [HDRviewer5.exe] をダブルクリックし、ビューワソフトを起動します。



- 4) ビューワソフトの参照先ボタンをクリックし、【SDカード】を選択して映像の再生を行なってください。



専用ビューワソフトの詳しい使用方法に関しては
弊社ホームページをご確認ください。

設定を変更する

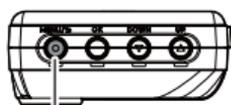
下記手順で、各種設定の変更ができます。

※ 約 60 秒間操作を行わないと、自動的に設定モードを終了します。
(それまで変更した設定内容は保存されます)

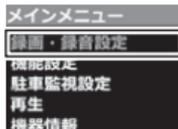
設定の変更方法

例：録画サイズの設定を【HD】に設定変更するには・・・

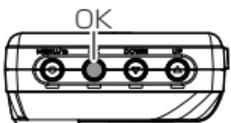
1. 【メニュー/戻る】を長押しし、【メインメニュー】を表示する。



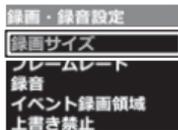
メニュー/戻る



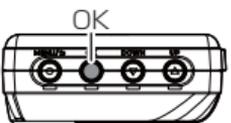
2. 【録画・録音設定】が選択されているので【OK】を押す。



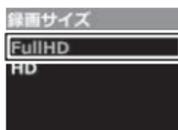
OK



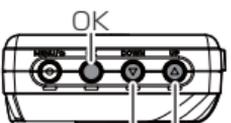
3. 【録画サイズ】が選択されているので【OK】を押す。



OK

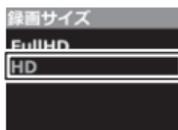


4. 【アップ】または【ダウン】を1回押して【HD】を選択し、【OK】を押す。

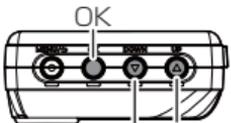


OK

ダウン アップ

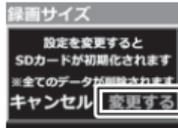


5. 【アップ】または【ダウン】を押して【変更する】を選択し、【OK】を押す。

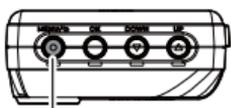


OK

ダウン アップ



6. 【メニュー/戻る】を押し設定モードを抜けると、SDカードの初期化が始まり、完了すると録画面面が表示されます。



メニュー/戻る



※ SD カード初期化終了前に電源を OFF にすると、設定が変更前に戻ります。

設定一覧

表内の【太字】は初期設定です。

表内にある【*】は microSD カードが初期化される設定項目です。

録画・録音設定

項目	項目説明	設定値	設定内容
録画 サイズ*	記録する映像のサイズを設定します。	【Full HD (1920x1080)】	Full HD (1920x1080) サイズで記録を行います。
		HD (1280x720)	HD (1280x720) サイズで記録を行います。
フレーム レート	記録する映像のフレームレートを設定します。	【27.5fps】	1 秒間に 27.5 枚の画像を記録します。
		タイムラプス	1 秒間に 1 枚の画像を記録し、長時間の映像を短縮して再生できるように記録します。
録音	記録する映像に音声の録音を行うか設定します。	OFF	音声の録音を行いません。
		ON (小)	小さめの音量で音声の録音を行います。
		【ON (大)】	大きめの音量で音声の録音を行います。
イベント 録画領域*	イベント録画 (衝撃録画およびマニュアル録画) の容量割合を設定します。	10%	microSD カード容量の 10% をイベント録画領域として設定します。
		【20%】	microSD カード容量の 20% をイベント録画領域として設定します。
		30%	microSD カード容量の 30% をイベント録画領域として設定します。
上書き 禁止	録画データが microSD カード容量の上限まで達した場合の動作を設定します。	【OFF】	すべての録画データを上書きします。
		イベント	イベント録画データのみ上書きを禁止します。
		ALL	すべての録画データの上書きを禁止します。
カメラ 輝度	記録する映像の明るさを設定します。	明るい	明るめの明るさで映像を記録します。
		【標準】	標準の明るさで映像を記録します。
		暗い	暗めの明るさで映像を記録します。
速度情報	速度情報の記録を設定します。	OFF	速度情報を記録しません。
		【ON】	速度情報を記録します。
地図情報	地図情報の記録を設定します。	OFF	地図情報を記録しません。
		【ON】	地図情報を記録します。

機能設定

項目	項目説明	設定値	設定内容
Gセンサー	衝撃を検出する感度を前後・左右・上下それぞれ設定します。	OFF	衝撃の検出を行いません。
		0.1G (敏感) ~ 【0.6G】 ~ 1.0G (鈍感)	0.1G (敏感) ~ 1.0G (鈍感) の設定した感度で衝撃を検出し録画を行います。
日時設定	本製品の日時を設定します。	—	

項目	項目説明	設定値	設定内容
タイムスタンプ	録画データに録画日時を埋め込みます。専用ビューソフトを使用せずに、Windows Media Player などで再生する際にも録画日時を確認できます。 ※タイムスタンプ機能は録画しながら映像へ日時を埋め込むため、処理状況により若干の時間のずれが発生することがあります。	OFF	録画データに録画日時を埋め込みません。
		[ON]	録画データに録画日時を埋め込みます。
緊急録画停止	緊急録画停止機能が作動する衝撃感度を設定します。	OFF	強い衝撃を検出しても録画を停止しません。
		1.1G (敏感) ~ [1.5G] ~ 2.0G (鈍感)	1.1G (敏感) ~ 2.0G (鈍感) の設定した感度で衝撃を検出し録画を停止します。
液晶明るさ	液晶ディスプレイの明るさを設定します。	明るい	明るめの明るさで液晶ディスプレイを表示します。
		[標準]	標準の明るさで液晶ディスプレイを表示します。
		暗い	暗めの明るさで液晶ディスプレイを表示します。
液晶表示	録画モード中の液晶ディスプレイの表示内容を設定します。	OFF	液晶ディスプレイの表示を行いません。 [メニュー / 戻る] スイッチを押した時のみ、液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。
		[速度連動]	起動後速度 10km/h 以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示に切り替わります。停車後も非表示のままとなりますが [メニュー / 戻る] スイッチを押すことにより、次回 10km/h 以上で走行するまでの間、表示を行います。
		ON	液晶ディスプレイを常に表示します。
録画お知らせ	常時録画、イベント録画開始時のお知らせ音を設定します。	[アラーム]	お知らせをアラームで行ないます。
		音声	お知らせを音声アナウンスで行ないます。
SDカードの初期化*	microSD カードの録画データを消去し初期化を行います。	—	
工場出荷状態に戻す*	本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。	—	

■ 駐車監視設定一覧

項目	項目説明	設定値		設定内容
駐車監視モード*	駐車監視モードの設定をします。	【OFF】		駐車監視モードを設定しません。
		ON		駐車監視モードを設定します。
録画割合*	駐車監視録画データの保存容量の割合を設定します。 駐車監視モード設定を変更すると自動的に表示します。	【5%】		保存容量 5% に設定します。
		25%		保存容量 25% に設定します。
		50%		保存容量 50% に設定します。
録画方式*	駐車監視録画方式を設定します。	衝撃		駐車監視モード中、衝撃録画のみ記録します。
		【常時・衝撃】		駐車監視モード中、常時録画および衝撃録画の記録を行います。
		タイムラプス		駐車監視モード中、1秒に1枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録を行います。
録画停止電圧	駐車監視モードを停止する車両バッテリーの電圧を12V/24V車両それぞれ6段階から設定します。 ※起動時に車両電圧を認識して数値を表示します。	12V車	11.7V ~ 【12.2V】 (0.1V単位で設定)	11.7V ~ 12.2V の設定したバッテリー電圧で駐車監視モードを停止します。
		24V車	23.4V ~ 【24.4V】 (0.2V単位で設定)	23.4 ~ 24.4V の設定したバッテリー電圧で駐車監視モードを停止します。
録画時間	駐車監視モードの動作時間を設定します。	【30分】・ 1時間 ~ 12時間・ 24時間		駐車監視モードの動作時間を30分、1時間 ~ 12時間、または24時間に設定します。
		常時 ON		駐車監視モードを常時 ON します。
衝撃お知らせ	駐車監視モード中に衝撃を検出した場合、次回起動時の本体動作、お知らせ方法を設定します。	OFF		駐車監視中に衝撃録画を行なった場合でもお知らせを行なわず、録画を開始します。
		【ON (お知らせのみ)】		駐車監視中に衝撃録画を行なった場合、次回起動時に駐車時衝撃検出アナウンスのみ行ない、 <u>録画を開始します。</u>
		ON (録画停止)		駐車監視中に衝撃録画を行なった場合、次回起動時に駐車時衝撃検出アナウンスを行ない、 <u>録画を停止します。</u>
衝撃感度	駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を設定します。	高 (敏感)		高 (敏感) 感度で検出します。
		【中】		中感度で検出します。
		低 (鈍感)		低 (鈍感) 感度で検出します。

項目	項目説明	設定値	設定内容
降車 キャンセル	車両から降車する際の振動による衝撃を検出して、駐車監視衝撃録画データとして記録を行わない時間を設定します。	1分	1分間検出しません。
		[3分]	3分間検出しません。
		5分	5分間検出しません。
乗車 キャンセル	車両へ乗車する際の振動による衝撃を検出して、衝撃お知らせを行わない時間を設定します。	1分	1分間検出しません。
		[3分]	3分間検出しません。
		5分	5分間検出しません。

緊急録画停止設定

- ・緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 60 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・衝撃を検出する感度を [OFF / 1.1G (敏感) ~ 2.0G (鈍感)] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は **[1.5G]** に設定されています。
※ 緊急録画停止時のアナウンス音についても、音量を [OFF] に設定していてもアナウンスします。



⚠ 注意

強い衝撃を検出し、録画が停止するまでの 60 秒の間に設定メニューに入る、microSDカードを抜く、その他メッセージ表示が出た場合は本機能による録画の停止は行われません。ご注意ください。

👉 アドバイス

事故にあった際に...

本製品は microSDカードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。

そのため事故後 microSDカードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場での修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。

万一、事故に遭遇した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし、microSDカードを抜く、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをおすすめします。

■録画を再開する場合

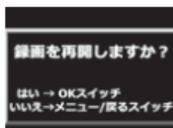
緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。

※ 再開するまで3分に一度音声でお知らせします。

※ 事故時の録画データが必要な場合は録画を再開する前にパソコンへ保存してください。



①【OK】を押す



②【OK】を押す



③録画が再開される

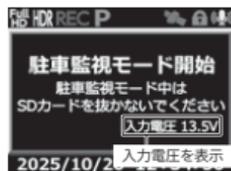
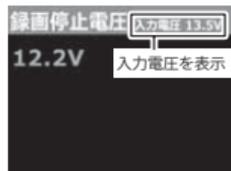
駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視モードについて

- ・別売のHDRP-14『駐車監視・直接配線コード』を使用することで、車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができます。
- ・『駐車監視・直接配線コード』接続後は設定モードより【駐車監視モード】の設定を変更してください。初期設定では駐車監視モードに移行しません。
- ・別売のHDRP-15『直接配線コード』で接続しても駐車監視モードを使用することはできません。

■駐車監視モードに設定する前に

- ・別売の『駐車監視・直接配線コード』を取付けたら、【メニュー/戻る】を長押しし、【メインメニュー】→【駐車監視設定】→【録画停止電圧設定】を表示します。現在の入力電圧が表示されますので、テスターなどを使用して常時電源接続ポイントと入力電圧の数値に大きな差がないことを確認します。
- ・駐車監視中の入力電圧の確認は【駐車監視モード】をONに設定して、車両キースイッチをOFFにした後の駐車監視モード移行画面でも確認することができます。



👉 アドバイス

- ・常時電源の接続ポイントと電圧の差が大きい場合は、常時電源線の接続確認やアースポイントの変更を行なってください。
- ・表示される数値はあくまでも参考値となります。本体の設定内容によっても表示誤差は発生します。
- ・電源配線のカットまたは延長は、表示数値の誤差が大きくなりますのでおやめください。

⚠ 注意

- ・ 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- ・ 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
- ・ 駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行なってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- ・ 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 長時間録画を行う場合、microSDカードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

駐車監視モードの動作について

■ 駐車監視モードに移行する

- ・ [駐車監視モード] 設定を【ON】に設定し、車両キースイッチをOFFにすると駐車監視モードに移行します。
- ・ 駐車監視モード動作中はLEDランプが緑3回早点滅を繰り返します。
- ・ 駐車監視モード中の常時録画データは『駐車監視常時録画』データとして記録され、衝撃録画データは『駐車監視衝撃録画』データとして記録されます。

■ 駐車監視モード動作中



液晶消灯
緑3回早点滅

👉 アドバイス

車両キースイッチOFF後、[降車キャンセル]設定時間内は、降車時の振動による衝撃とみなし、衝撃の検出を行いません。

■ ワンタイム駐車監視モード

駐車監視モード設定を【OFF】に設定していても、車両キースイッチをOFF後、お知らせ画面表示中に**本体の4つのスイッチいずれかを長押し**した時点から一時的に駐車監視モードをONにすることができます。

※「ワンタイム駐車監視モード」による駐車監視モードも、通常の駐車監視モード時の詳細設定が反映されます。

※「ワンタイム駐車監視モード」は、車両キースイッチがACCまたはONになった時点や**本体の4つのスイッチいずれかを長押し**することで解除され、[駐車監視モード設定]による設定に戻ります。

■ 駐車監視モードを終了する（電源をOFFにする）

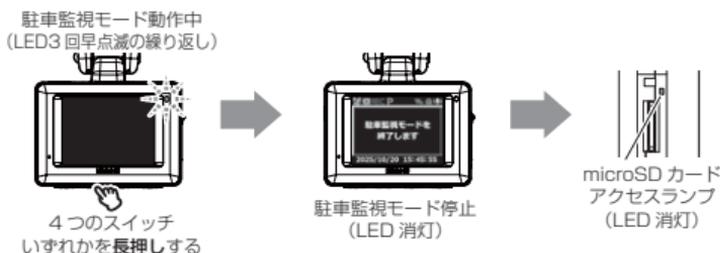
- ・ 駐車監視モードは車両キースイッチがACCまたはONになった時点や**本体の4つのスイッチいずれかを長押し**することで終了させることができます。
- ・ 停止電圧設定以下になった際や駐車監視録画時間設定で設定した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。



4つのスイッチいずれかを長押しする

駐車監視モード作動中の microSDカードの取り出し方

駐車監視モード作動中の場合、車両キースイッチを OFF にしても本体は動作しています。そのため microSDカードを抜く際は、**必ず本体の4つのスイッチいずれかのスイッチを長押しして駐車監視モードを終了後、microSDカードアクセスランプが消灯したことを確認し、microSDカードを抜いてください。**



駐車監視モードについてのご質問

Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？

- A. 本製品の駐車監視モード中は電源 OFF 後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車監視モード作動中でも【録画時間】設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が【録画停止電圧】設定以下になると、駐車監視モードを終了します。
- ※ 夏の暑い日や冬の寒い日など、駐車監視モード作動中に本体の使用温度範囲を超えた場合、一時的に録画を停止します。使用温度範囲に戻ると録画を再開します。ただし、車内温度が高温に達した場合は駐車監視モードを終了します。あらかじめご了承ください。

Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまう

- A. 1. 【駐車監視モード】設定が【ON】に設定されていることをご確認ください。
2. 本製品は車両バッテリー保護のため、停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合や、車両バッテリーの電圧が【録画停止電圧】設定以下やその付近の場合は駐車監視モードへ移行しないことがあります。
3. 駐車監視・直接配線コード【HDROP-14】の常時電源線を、車両 ACC 線へ接続したり、未接続だと駐車監視モードへは移行しません。
4. 付属のシガープラグコード、直接配線コード【HDROP-15】で接続している場合は、駐車監視モードへは移行しません。

Q. 駐車監視モードの作動確認を行なうには？

- A. 駐車監視モード作動中は P40 記載の LED ランプ確認表で作動確認を行なってください。

Q. 側方の映像も録画しますか？

- A. 本体のカメラ部が向いている方向のみの録画となります。

Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？

- A. 駐車監視モード作動中はヘッドライトなどの光源が無いため、状況によって鮮明な映像が記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。

よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

内 容	ここをチェックしてください。
液晶表示が消える。	● [液晶表示設定] が [速度運動] になっていませんか？ [ON] にすることで液晶ディスプレイを常に表示することができます。
LED ランプが点灯しない。	● シガープラグコードのヒューズが切れていませんか？ ● シガープラグコードが接触不良や断線などしていませんか？
GPS 衛星を受信しない。	● フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？ ● ガラス側に電波を遮断する物はありませんか？
記録した映像を削除したいのですが？	● ビューワソフトを使用してファイルを削除することができます。
事故の衝撃録画映像が保存されていない。	● 事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画や常時録画データを保存することをおすすめします。 ※ 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	● [録画サイズ] の設定を変更することで記録時間を変更することができます。
microSDカードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	● microSDカードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。 ● イベント録画データ (衝撃 / マニュアル / 駐車監視衝撃) は上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定しているとメッセージが表示され、上書きされません。録画を再開するにはビューワソフトで不要なデータを削除するか、上書き禁止設定を [OFF] に設定してください。
microSDカードに録画データが保存されていない。	● microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度走行する場合で約1～2年を目安に交換することをおすすめします。また使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	● microSDカード内に本機以外のデータが保存されていませんか？ ● 必要な映像をパソコンへ保存してから、本体でmicroSDカードの初期化を行ってください。
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	● 事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。

内容	ここをチェックしてください。
microSDカードがパソコンで認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● お使いのSDカードリーダーはSDHCに対応していますか？付属のカードはmicroSDHCカードとなっているため、SDHCに対応している必要があります。 ● microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度走行する場合で約1～2年を目安に交換することをおすすめします。また使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。

メッセージ一覧表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
SDカードが挿入されていません	電源をOFF後microSDカードを挿入し、再起動してください。
SDカードを確認してください	microSDカードの書き込み速度が低下している際や、microSDカードが故障した際に表示されます。電源OFF後、microSDカードを抜き、端子部が汚れていないか確認し、microSDカードを挿入し再起動してください。 症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行ってください。それでも改善されない場合はmicroSDカードの故障が考えられるため、microSDカードの交換をおすすめします。
SDカードの初期化を行ってください	新しいmicroSDカードを挿入すると表示されます。初期化を行ってください。
録画データと設定が一致しません どちらか選択して初期化してください	設定が異なるmicroSDカードを挿入すると表示されます。 ※ [SDカード] または [本体設定] のどちらか選択したほうが初期化されます。
録画データが変更されています SDカードの初期化を行ってください	microSDカード内の録画データをパソコンで削除など操作をした際に出るメッセージです。本体でmicroSDカードの初期化を行ってください。
高温注意 本体温度が下がるまで録画を停止します	本体の使用温度範囲を超えているため、正常に録画できないことが考えられます。夏場などはしばらく時間をおいて車内の温度が下がってからご使用ください。
上書き禁止イベント録画がいっぱいです	上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定した状態で、microSDカードの容量を超えて録画しようとした際に出るメッセージです。
上書き禁止録画データがいっぱいです 録画を停止します	上書き禁止設定を [OFF] に設定するか、ビューワソフトで不要な録画データを消去してください。
リセットスイッチを押して再起動してください	リセットスイッチを押して本製品を再起動してください。症状が改善されない場合は、弊社サービスセンターまでご相談ください。

メッセージ	対処方法
しばらくお待ちください	録画データの読み込みに時間がかかる際に表示します。 処理が終了するまでしばらくお待ちください。 ※状況により数分かかる場合があります。
日時がリセットされています GPSを受信することで 自動で日時を設定します	お買い上げ時や[工場出荷状態に戻す]を行なった後など日時情報が保存されていない場合、本製品の電源をONすると表示されます。GPSを受信することで、自動的に日時が設定されますが、繰り返し表示される場合は、弊社サービスセンターまでご相談ください。
書き込み速度が低下 しています 本体の再起動を 行います	microSDカードの断片化が進み、書き込み速度が低下した際に表示され、その後自動で本体が再起動します。必要なデータをパソコンに保存のうえ、microSDカードをパソコンでフォーマット、または本製品の設定メニューより初期化を行うことをおすすめします。
書き込み速度が 低下しています 必要なデータを保存の上 SDカードの初期化を 行なってください	上記状態より書き込み速度がさらに低下した際に表示されます。必要なデータをパソコンに保存のうえ、microSDカードをパソコンでフォーマット、または本製品の設定メニューから初期化を行なってください。
更新に失敗しました ボタンを押すと再起動します 10秒後に自動再起動します	本製品のファームウェア更新に失敗した際に表示されます。機種名をご確認のうえ、専用のファームウェアをもう一度ダウンロードして更新を行なってください。
SDカードの寿命が 近づいています SDカードを交換してください	microSDカードの寿命が近づいている際に出るメッセージです。新しいmicroSDカードに交換してください。

※ 上記メッセージ画面を表示し、LEDランプの橙点滅でお知らせします。

microSDカードの容量による記録時間の目安

記録時間はmicroSDカードの容量、録画サイズ設定により変動します。

(下記表は常時録画およびイベント録画を含めた時間です)

※ 対応 microSDカード：8GB～128GB (class 10 以上推奨)

※ 本製品付属 microSDカード：16GB (class 10)

録画 サイズ	フレーム レート	microSDカード容量				
		8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
Full HD	27.5fps	約 75 分	約 150 分	約 305 分	約 620 分	約 1240 分
	タイムラプス	約 18 時間	約 38 時間	約 77 時間	約 155 時間	約 310 時間
HD	27.5fps	約 120 分	約 240 分	約 485 分	約 975 分	約 1950 分
	タイムラプス	約 30 時間	約 60 時間	約 121 時間	約 243 時間	約 488 時間

※ 太枠は付属 microSDカードを示します。

※ 本製品の初期設定は録画サイズ【FullHD】、フレームレート【27.5fps】、イベント録画領域【20%】、駐車監視録画割合【5%】に設定されています。なお、上記表に駐車監視録画時間は含みません。

microSDカードの容量によるイベント録画件数の目安

- ・ イベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画）の容量割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。（⇒ P29）
- ・ お買い上げ時は【20%】に設定されています。
 - ※ イベント録画件数が少ない場合は、常時録画領域として使用されます。

設定	microSDカード容量				
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
10%	7件	15件	30件	62件	41件*1
20%	15件	30件	61件	124件	82件*1
30%	22件	46件	92件	186件	124件*1

※ 太枠は付属 microSDカードを示します。

※ 上記件数は初期設定の録画サイズ（FullHD）・駐車監視録画割合（5%）での目安となり、実際と異なる場合があります。また、駐車監視衝撃録画は含みません。

*1 microSD カード容量 128GB の場合は、1 ファイル（1 件）の記録時間が 3 分になります。（⇒ P19）

駐車監視モード中のタイムラプス録画設定時の記録時間目安

駐車監視モードの [録画方式] 設定を【タイムラプス】に設定した場合、1 秒に 1 枚の静止画を記録することで、1 分間のファイルに 15 分間分の映像が収録されます。

録画サイズ	録画割合（microSD カード 16GB）		
	5%	25%	50%
Full HD	約 2 時間	約 10 時間	約 20 時間
HD	約 3 時間	約 16 時間	約 32 時間

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【Full HD】に設定されています。

※ 128GB microSD カードを使用した場合、1 ファイルあたりの記録時間が変更されるため、3 分間のファイルに 45 分間分の映像が収録されます。

⚠ 注意

- ・ 市販の microSD カードを使用する場合は、必ず本体で動作することを確認の上、ご使用ください。なお、動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 使用する microSD カードによっては上記各表の録画時間と異なる場合があります。

LED ランプ確認表

本製品動作時の LED ランプの確認表です。

LED ランプ表示	本体動作	内容
緑点灯	録画中	録画中
緑点滅	録画中	衝撃録画中またはマニュアル録画中
橙点灯	録画停止	設定モード中
橙点滅	録画停止	メッセージ表示または緊急録画停止中
緑・橙交互点滅	録画停止	本体ファームウェアのアップデート中
駐車監視時		
緑 3 回早点滅	録画中	駐車監視モードによる録画中
橙 3 回早点滅	監視中	衝撃待機中 ※録画方式 [衝撃] を選択
緑点滅	録画中	駐車監視モードによる衝撃録画中 降車キャンセルタイマー中 ※ 録画方式 [常時・衝撃]、[タイムラプス] を選択時
橙点滅	監視中	降車キャンセルタイマー中 ※ 録画方式 [衝撃] を選択時

オートディマー機能

オートディマー機能により、周囲の明るさによって LED ランプと液晶の明るさを自動的に調整します。

機器情報

メインメニュー内の [機器情報] を選択することで本製品のファームウェアバージョンが表示されます。

機器情報

FW Ver : 1.0.0
入力電圧 : 12.3V

商標について

- ・ microSDHC および microSDXC は SD アソシエーションの登録商標です。
- ・ microSDHC ロゴ、microSDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。
- ・ Google および Google ロゴ、Google マップ および Google マップロゴ、ストリートビューは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- ・ Windows はアメリカ合衆国 Microsoft Corporation のアメリカ合衆国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本取扱説明書に記載されている各種名称や会社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。



製品仕様

電源電圧	DC12V/24V	
最大消費電流	通常時：300mA 以下 / スーパーキャパシタ充電時：600mA 以下	
動作温度範囲	-10℃～60℃	
カメラ	撮像素子	1/2.7 型 CMOS センサー
	総画素数	200 万画素
	有効画素数	最大 200 万画素
	レンズ画角	水平 115° 垂直 59° (対角 143°)
	F 値	F2.0
記録映像サイズ	Full HD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720)	
録画画質	FullHD：9Mbps HD：5.6Mbps	
GPS	○	
G センサー	○	
記録方式	常時録画 / イベント録画(衝撃録画) / マニュアル録画(手動録画)	
録画ファイル構成	1 分 / 3 分単位	
音声録音	ON/OFF 可能	
フレームレート	27.5fps	
映像ファイル形式	MOV (MPEG-4 AVC / H.264)	
記録映像再生方法	専用ビューワソフト ※ Windows10/11 専用 (タブレット PC 除く)	
	本体液晶	
記録媒体	microSDカード (付属：16GB/class10) 8～128GB 対応 class10 推奨	
液晶サイズ	2.0 インチフルカラー IPS 液晶	
本体サイズ	66.8(W) × 48.9(H) × 28.9(D)/mm	
	取付ステー装着時 66.8(W) × 75.1(H) × 28.9(D)/mm	
重量	78g (取付ステー含む)	

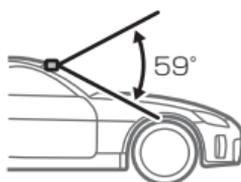
※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります
予めご了承ください。

■カメラ画角イメージ

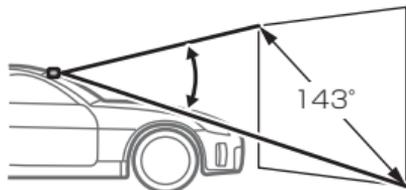
水平画角



垂直画角



対角画角



保証規定（必ずお読みください）

保証期間	ご購入日より3年間
対象部品	本体 ※その他付属品は除く

1. 保証の内容

取扱説明書の内容に従った使用方法で不具合が発生した場合、この保証書に示す保証期間と条件に従って無償修理（保証修理）を受けることができます。（以下、この無償修理を保証修理といえます）

保証修理は部品の交換あるいは製品の交換により行い、交換された部品・製品は弊社の所有となります。この保証規定による保証修理の対象は本書記載の対象部品に限ります。なお、**本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。**

2. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合、お買い上げいただいた販売店にこの保証書をご提示の上、保証修理をお申し付けください。ご提示がない場合、保証修理をお受けいただけません。

なお、販売店がこの保証書にご購入日の証明をされていない場合は、お客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）を添付してください。

販売店に製品を送付される場合、この保証書を製品に添えてお送りください。

製品を送付される場合、宅配便など送料控が残る方法でお願いします。

なお、送料などの諸費用、引取りに伴う出張費はお客様の負担になります。また送料着払いにて発送された場合、弊社からお客様に着払いにて返送させていただきます。あらかじめご了承ください。

3. 保証しない事項

1) 保証期間内でも次のような場合には保証修理いたしません。

- (1) 取扱説明書に記載されている「警告・注意・ご使用上のお願い」その他記載内容を遵守されなかったことによる故障または損傷。
- (2) 車載用ドライブレコーダー以外の用途（例えば、住居・船舶・建設機械等）で使用されたことによる故障または損傷。
- (3) 指定以外（DC12V/24V）の電源で使用した場合、および電源の逆接続などによる故障または損傷。
- (4) 弊社または弊社指定の取扱販売店以外による点検・修理・移設・分解したもの、改造したもの。
- (5) お買い上げ後の落下・衝撃・水濡れ・結露などによる故障または損傷。
- (6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天変地異や公害・塩害・異常電圧・事故などによる故障または損傷。

- (7) 弊社指定の部品以外をご使用になったことによる故障または損傷。
- (8) 本機での使用目的以外のデータを記録した microSD カード、弊社指定以外の microSD カードのご使用によって生じた記録データの消失または破損。
- (9) 車両事故によって生じた記録データの消失または破損。
- (10) 使用推奨期限を超過した microSD カードをご使用になられたことによる記録データの消失または破損。
- (11) カメラレンズの汚れ、フロントガラスに付着した汚れ・水滴・高輝度光源などを介して記録したデータの見づらさ。
- (12) **本製品以外の故障等に誘発された記録データの消失・破損、本製品の故障または損傷。**
- (13) ご使用によって生じる外観・美観・色あせなどの外観上の現象。
- (14) 取扱説明書に記載されている、温度の範囲を超えた環境下でご使用になられたことによる故障または損傷。

2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- (1) 商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失。
- (2) **消耗部品**（microSD カード、本体内蔵バッテリー、1A ミニガラス管ヒューズ）および上記対象部品以外の付属品
- (3) **本製品の使用・故障・修理に伴う二次的損害**（修理品の送料、脱着工賃など）に対する補償。

4. 保証の発効

保証書に必要事項を記入、捺印することにより有効となります。本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

5. 保証の適用

この保証書は日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

(This warranty is valid only in JAPAN)

6. その他

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証修理をお約束するものです。

この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間満了後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合せください。

保証書

コピー不可

本書は保証規定に明示した条件のもと、無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で万一故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	HDR003	シリアルNo.	
お買上げ 年月日	お買上げ日 西暦 年 月 日		
保証期間	お買上げ日から3年		
対象部分	本体 ※消耗部品および付属品は除く。		
お客様	お名前 様	★販売店	店名・住所・電話・捺印
	ご住所 〒 -		印
	電話番号 () -		※本欄に記入または捺印が無い場合、必ず販売店様発行の領収書など、購入年月日、店名などを証明するものをお貼りください。

※保証書に販売店名、購入年月日を証明するもの、または購入証明書（納品書や領収書）が無いものは保証対象外とさせていただきます。またお送り頂く際の送料は保証に含まれていません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ

製品のお取扱方法、修理等に関するご相談は、お買上げ頂いた販売店または下記弊社サービスセンターまでお問い合わせください。ただし、お客様ご自身の取付作業に対するサポートは行なっておりません。



0800-200-5654

受付時間 10:00~17:00

※土・日・祝日・年末年始・夏季休暇・GW等、弊社指定期間を除く。

※非通知設定ではお繋ぎできません。恐れ入りますが電話番号の前に「186」をつけるなど、電話番号を通知しておかけください。

※携帯電話やPHS、公衆電話、050から始まるIP電話からはご利用いただけません。また、一部の光電話からもご利用いただけない場合があります。その際は下記番号よりおかけください。

0561-56-1814 (有料)

株式会社コムテック

〒470-0151 愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字池上1-1

HP: <https://www.e-comtec.co.jp>